



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月30日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東
 コード番号 6222 URL <https://www.shimaseiki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 三博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	8,081	63.1	△644	—	△154	—	△271	—
2021年3月期第1四半期	4,954	△41.0	△1,970	—	△1,414	—	△1,463	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 △296百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △2,328百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	△7.85	—
2021年3月期第1四半期	△42.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	104,955	89,393	85.1
2021年3月期	110,140	90,036	81.7

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 89,364百万円 2021年3月期 89,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,000	28.4	△3,500	—	△3,100	—	△3,100	—	△89.83
通期	28,000	14.3	△7,000	—	△6,300	—	△6,400	—	△185.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	35,800,000株	2021年3月期	35,800,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,284,951株	2021年3月期	1,288,541株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	34,511,434株	2021年3月期1Q	34,511,089株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済の動向は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中、米国では財政支出拡大やワクチン接種の進展に支えられ景気は回復傾向が続いており、欧州においても行動制限の緩和等から景況感は緩やかな改善が見られます。中国では幾分の減速感はあるものの着実に景気回復が進んでおります。わが国においては、海外経済の回復を背景に輸出や設備投資が堅調な一方、個人消費の低迷が継続しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、当社グループはこれまで以上に世界各地の顧客、業界の課題解決に向けて、新中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づいた強力な提案活動を展開しました。また6月に上海で開催された国際繊維機械展示会(ITMA ASIA+CITME)、同時期に香港にて開催した個展では、オンライン上にて次世代型ホールゲーム横編機のプロトタイプを発表すると同時に、多様化する勤務形態に対応するデザインソフトウェアのサブスクリプションサービスである「APEXFiz」等、デジタル技術を駆使した新しい生産の仕組みなどのサステナブルなもの創りを実現するトータルソリューションを提案しました。

コア・ビジネスである横編機事業の状況は、アジア地域では、中国市場においてOEM型生産から企画提案型・高付加価値商品の体制へと転換を図るとともに、人件費上昇と人手不足から省人化を進める動きは強く、ホールゲーム横編機の導入は拡大傾向にあります。その他アジア市場においても設備投資が回復傾向となりコンピュータ横編機の売上が増加しました。

欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリアにおいて、経済活動の再開に向けた設備投資が活発となり、ホールゲーム横編機等の販売が伸長しました。これらの結果、横編機事業全体の売上高は53億96百万円(前年同期比64.2%増)となりました。

デザインシステム関連事業においては、欧米、国内アパレルブランドを中心に「APEXFiz」のライセンス契約を本格的にスタートさせました。横編機の売上増加に伴い「SDS-ONE APEX4」の販売も伸び、また自動裁断機「P-CAM」についても需要が回復傾向となり、売上高は6億49百万円(前年同期比60.8%増)となりました。

手袋靴下編機事業は、大手ユーザーの設備投資が順調に伸びたことで売上高は8億0百万円(前年同期比134.9%増)となりました。その他事業につきましては、売上高は12億34百万円(前年同期比33.6%増)となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間全体の売上高は80億81百万円(前年同期比63.1%増)となりました。利益面におきましては、工場操業度が改善したことにより売上総利益率は回復傾向となり、また売上増加に伴い販売費は増加しましたが、継続的なコスト削減等により営業損失は減少し6億44百万円(前年同期は営業損失19億70百万円)となりました。営業外において貸倒引当金戻入益の計上等により経常損失1億54百万円(前年同期は経常損失14億14百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2億71百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失14億63百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は現金及び預金、棚卸資産の減少などで前期末に比べ51億84百万円減少し、1,049億55百万円となりました。負債合計は買掛金や短期借入金の減少などで前期末に比べ45億42百万円減少し、155億61百万円となりました。また自己資本の額は、893億64百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて3.4ポイント上昇し85.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月7日に発表しました2022年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,636	21,170
受取手形及び売掛金	44,823	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	44,690
商品及び製品	7,899	7,938
仕掛品	1,081	847
原材料及び貯蔵品	7,232	6,677
その他	953	975
貸倒引当金	△4,816	△4,560
流動資産合計	82,811	77,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,254	7,170
土地	6,473	6,473
その他（純額）	2,315	2,594
有形固定資産合計	16,043	16,238
無形固定資産		
のれん	2,197	2,095
その他	105	140
無形固定資産合計	2,302	2,236
投資その他の資産		
投資有価証券	5,758	5,627
退職給付に係る資産	1,184	1,184
繰延税金資産	360	341
その他	3,128	3,020
貸倒引当金	△1,448	△1,434
投資その他の資産合計	8,983	8,740
固定資産合計	27,328	27,215
資産合計	110,140	104,955

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,393	1,572
電子記録債務	280	496
短期借入金	6,235	2,211
リース債務	943	951
未払法人税等	164	208
契約負債	—	608
賞与引当金	982	1,192
債務保証損失引当金	230	222
その他	3,403	2,730
流動負債合計	14,633	10,195
固定負債		
長期未払金	967	947
リース債務	2,323	2,279
繰延税金負債	556	526
退職給付に係る負債	1,406	1,396
その他	216	216
固定負債合計	5,470	5,366
負債合計	20,104	15,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	23,424	23,423
利益剰余金	55,648	55,032
自己株式	△3,935	△3,924
株主資本合計	89,996	89,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	499
土地再評価差額金	33	33
為替換算調整勘定	△324	△244
退職給付に係る調整累計額	△316	△315
その他の包括利益累計額合計	△0	△25
新株予約権	23	13
非支配株主持分	15	15
純資産合計	90,036	89,393
負債純資産合計	110,140	104,955

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,954	8,081
売上原価	3,518	5,175
売上総利益	1,435	2,906
販売費及び一般管理費	3,406	3,550
営業損失(△)	△1,970	△644
営業外収益		
受取利息	72	87
受取配当金	88	69
貸倒引当金戻入益	—	279
助成金収入	238	16
その他	217	105
営業外収益合計	615	558
営業外費用		
支払利息	17	12
為替差損	18	20
固定資産賃貸費用	20	9
その他	3	24
営業外費用合計	59	67
経常損失(△)	△1,414	△154
特別利益		
固定資産売却益	14	—
投資有価証券売却益	38	—
特別利益合計	53	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,360	△154
法人税、住民税及び事業税	43	94
法人税等調整額	58	21
法人税等合計	102	116
四半期純損失(△)	△1,463	△270
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,463	△271

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
四半期純損失(△)	△1,463	△270
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	144	△106
為替換算調整勘定	△162	79
退職給付に係る調整額	△846	1
その他の包括利益合計	△864	△25
四半期包括利益	△2,328	△296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,327	△296
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,286	403	340	4,031	923	4,954
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,286	403	340	4,031	923	4,954
セグメント利益又は 損失(△)	△418	13	△63	△468	△36	△504

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△468
「その他」の区分の損失	△36
全社費用(注)	△1,465
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,970

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
一時点で移転される財	5,396	649	800	6,847	1,179	8,026
一定の期間にわたり移転 されるサービス	—	—	—	—	55	55
顧客との契約から生じる 収益	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
外部顧客への売上高	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,396	649	800	6,847	1,234	8,081
セグメント利益	516	148	55	720	174	895

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	720
「その他」の区分の利益	174
全社費用(注)	△1,540
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△644

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

【関連情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,175	866	152	2,572	188	4,954

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	欧州	中東	アジア	その他	合計
1,556	2,368	264	3,508	383	8,081

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 「アジア」に属する地域は、東アジア、南アジア、東南アジア、中央アジアであります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期 増減率	受注残高	前年同四半期 増減率
横編機	5,593	227.0%	3,910	192.4%
デザインシステム関連	808	122.8%	401	159.6%
手袋靴下編機	833	4.8%	565	1.6%
合計	7,235	152.2%	4,877	138.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期増減率
横編機	5,396	64.2%
デザインシステム関連	649	60.8%
手袋靴下編機	800	134.9%
その他	1,234	33.6%
合計	8,081	63.1%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。